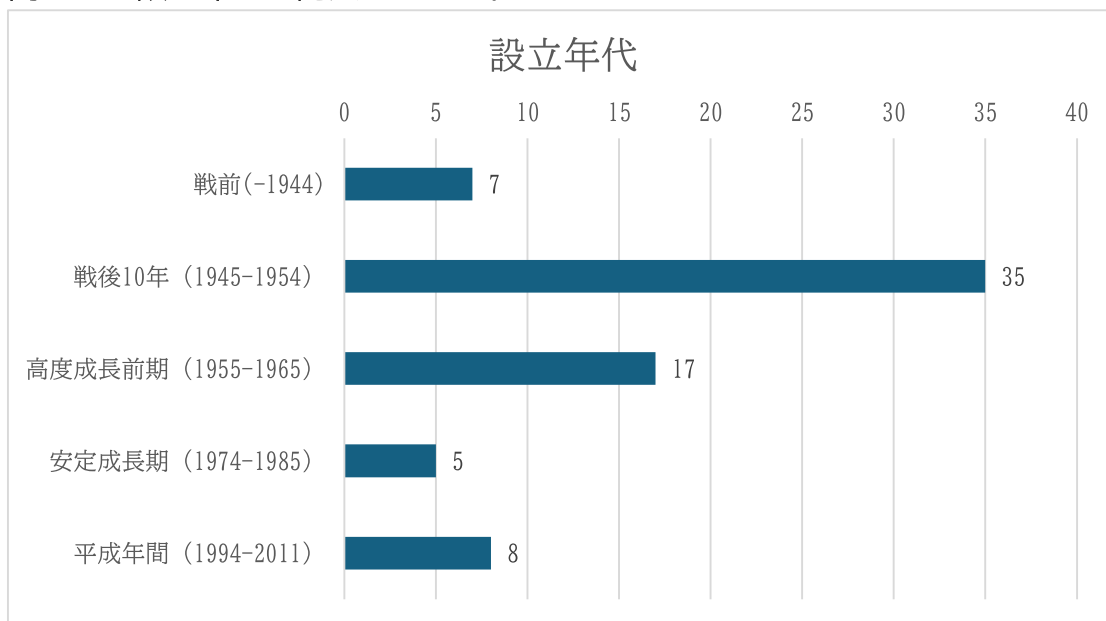


## 【荒川区自治総合研究所】

# 「地域コミュニティを支える組織・団体に関するアンケート（町会・自治会代表者向け）」結果（速報）

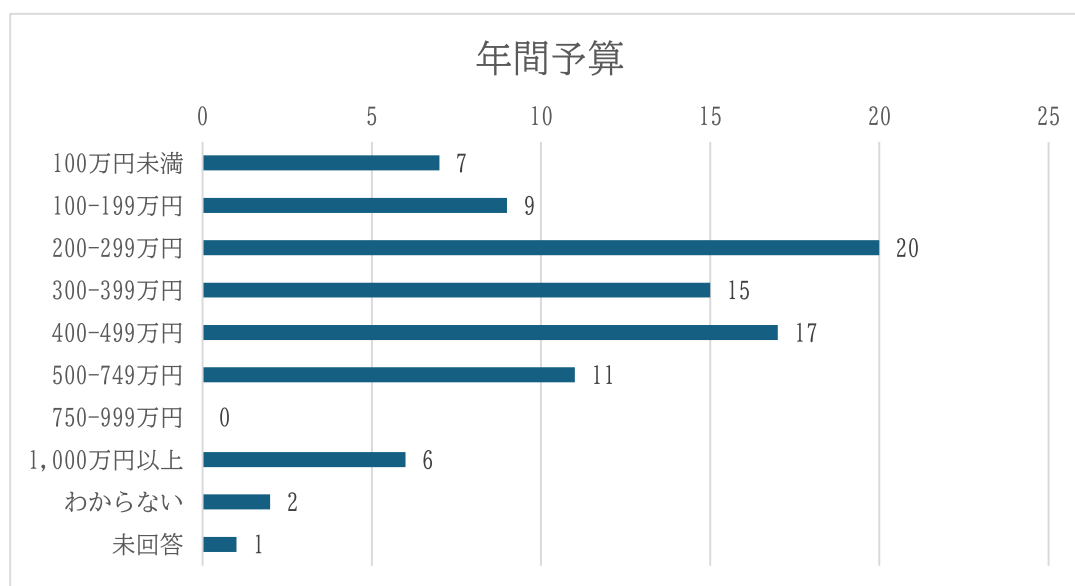
問1. 団体名をご記入ください。

問2. 設立年をご記入ください。



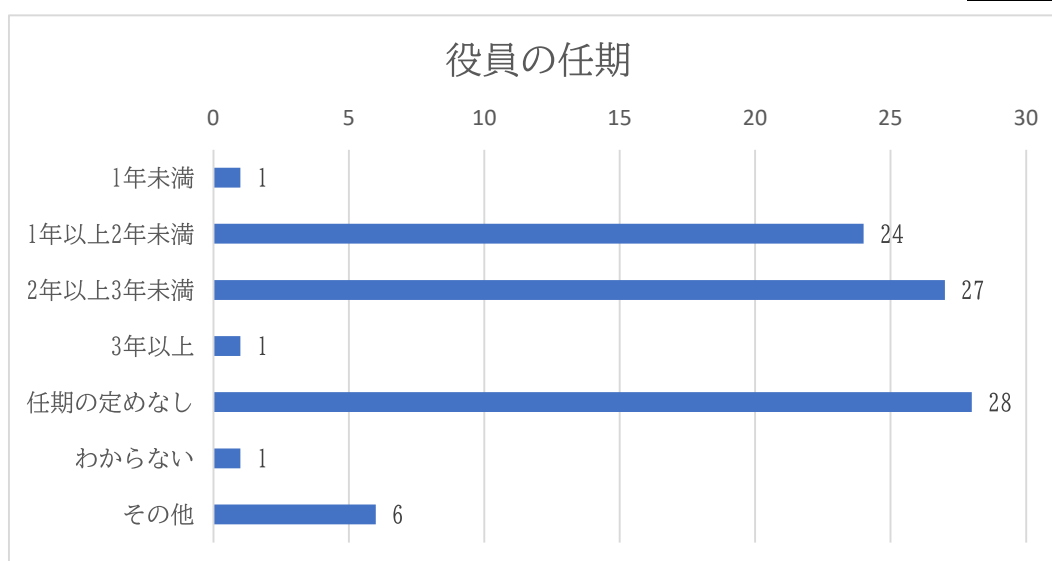
町会・自治会の設立年代について最も多い回答は「戦後10年(1945～1954年)」で35団体(39.8%)であった。次いで、「高度成長前期(1955～1965年)」が17団体(19.3%)、「平成期(1994～2011年)」が8団体(9.1%)となっている。このことから、荒川区の町会・自治会の多くは、戦後の地域社会の形成期に設立された団体であることがうかがえる。

問3. あなたの団体の年間予算（直近の）規模はどれくらいですか。（当てはまるものひとつだけ）



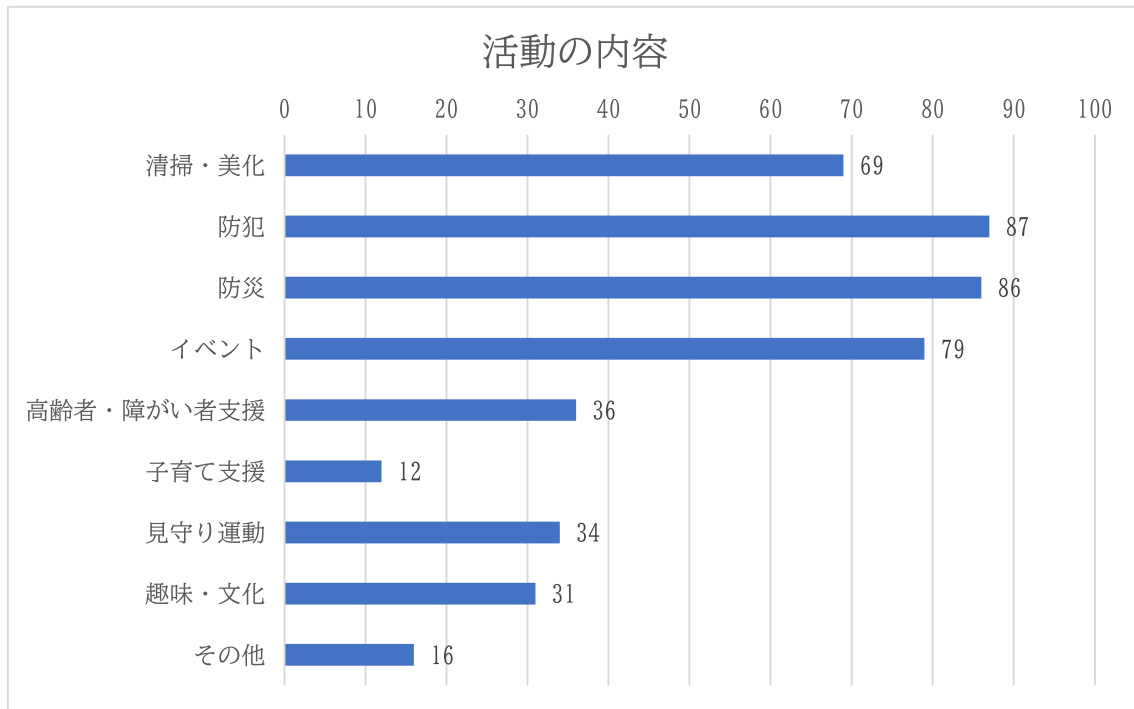
最も多い回答は「200～299万円」で20団体（約23%）であった。次いで、「400～499万円」が17団体（約19%）、「300～399万円」が15団体（約17%）となっている。また、100万円未満の団体が7団体（約8%）ある一方、1,000万円以上の団体も6団体（約7%）あり、町会・自治会の規模には一定の幅がある。

問4. あなたの団体の役員の任期は何年ですか。（当てはまるものひとつだけ）



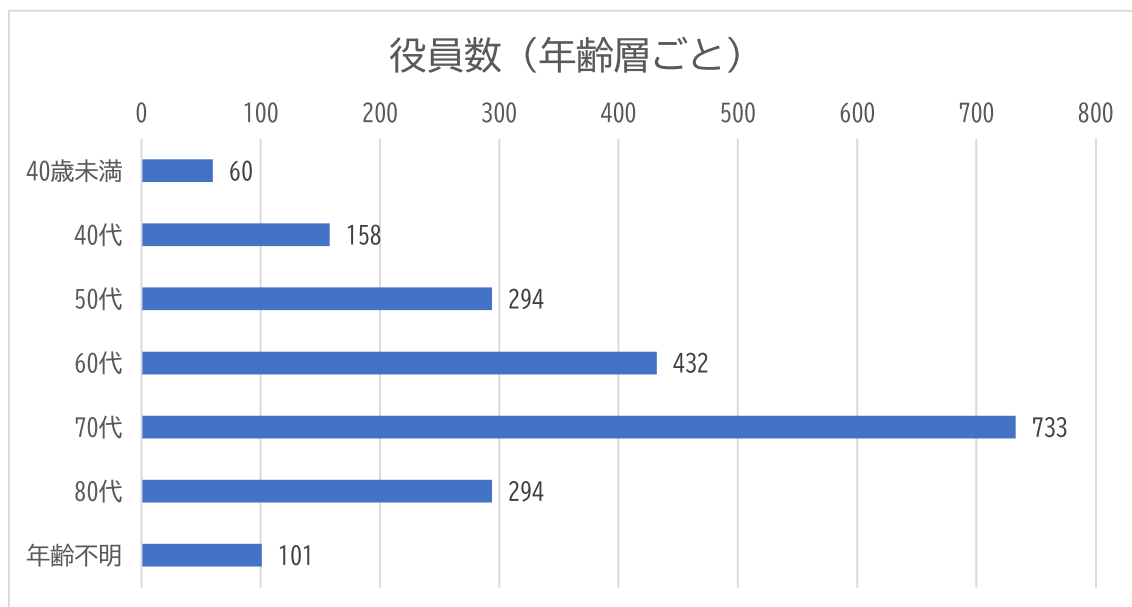
役員任期について、最も多い回答は「任期の定めなし」で28団体（31.8%）であった。次いで、「2年以上3年未満」が27団体（30.7%）、「1年以上2年未満」が24団体（27.3%）となっている。このことから役員任期は、2～3年程度としている団体が多い一方、任期を特に定めていない団体も一定数存在する。

問5. あなたの団体ではどのような活動を行っていますか。(当てはまるもの  
いくつでも)



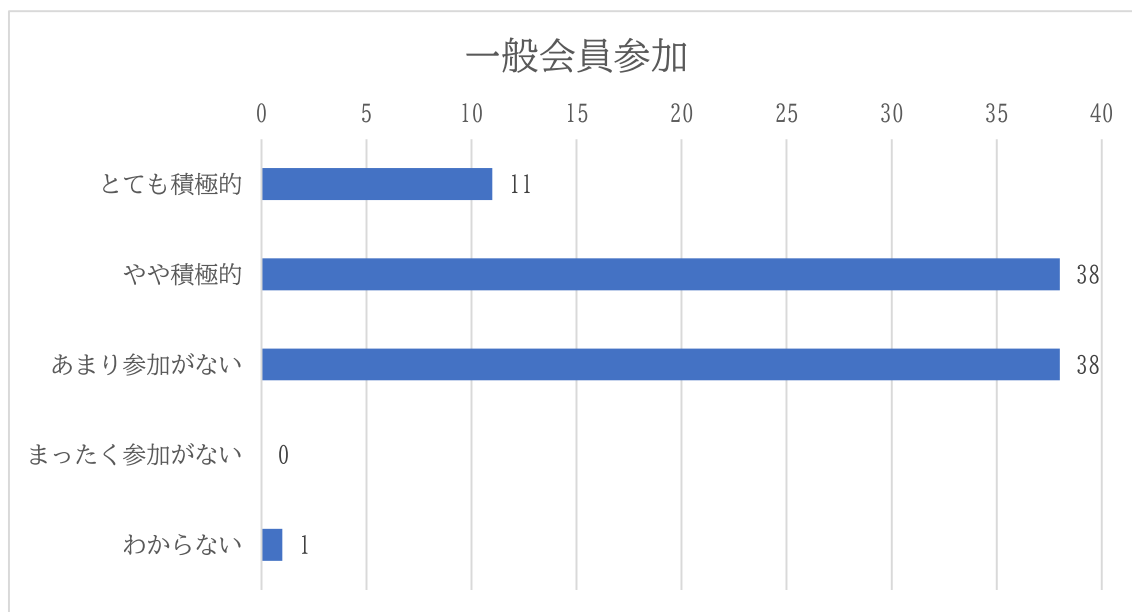
団体の活動内容について見ると、最も多い回答は「防犯活動」で87団体(98.9%)であった。次いで、「防災活動」が86団体(97.7%)、「イベント」が79団体(89.8%)、「清掃・美化活動」が69団体(78.4%)となっている。このことから、地域の安全確保や環境美化、地域住民の交流を目的とした活動が広く行われていることが分かった。

問6. あなたの団体の役員の数(代表者を除く)を年齢層ごとに記入してください。



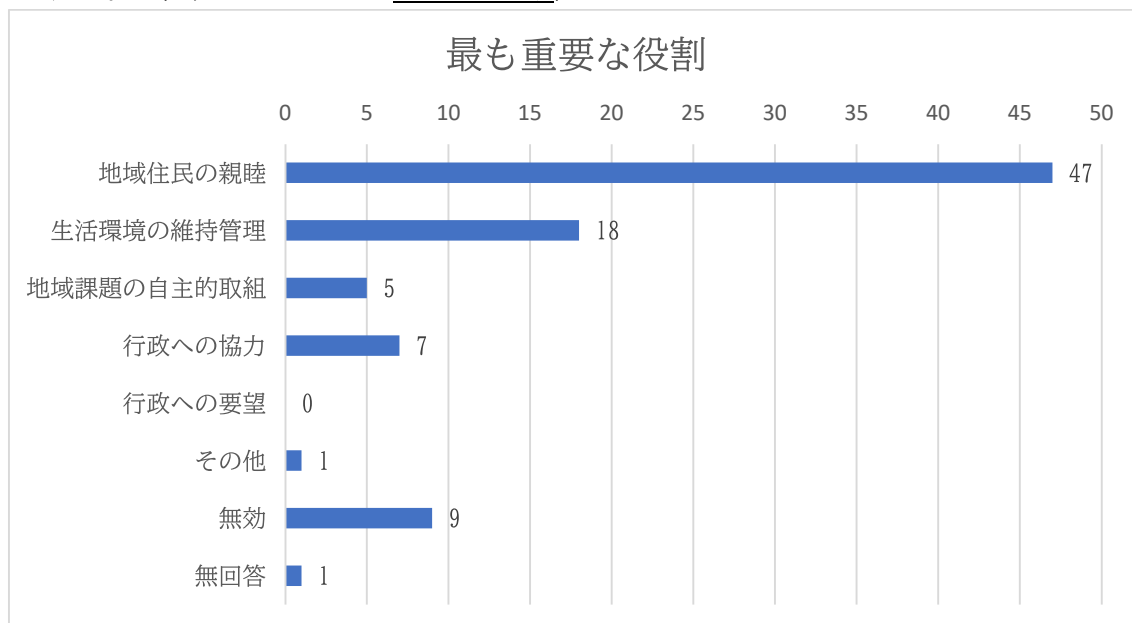
役員年齢構成について見ると、最も多い年齢層は「70代」で733人(35.4%)であった。次いで、「60代」が432人(20.8%)、「50代」が294人(14.2%)、「80代」が294人(14.2%)となっている。一方で、「40代」は158人(7.6%)、「40歳未満」は60人(2.9%)と少なく、町会・自治会の役員は高齢層が中心となっている状況がうかがえる。

問7. あなたの団体の会員(一般会員)は、あなたの団体の活動に、どの程度参加していますか。(当てはまるものひとつだけ)



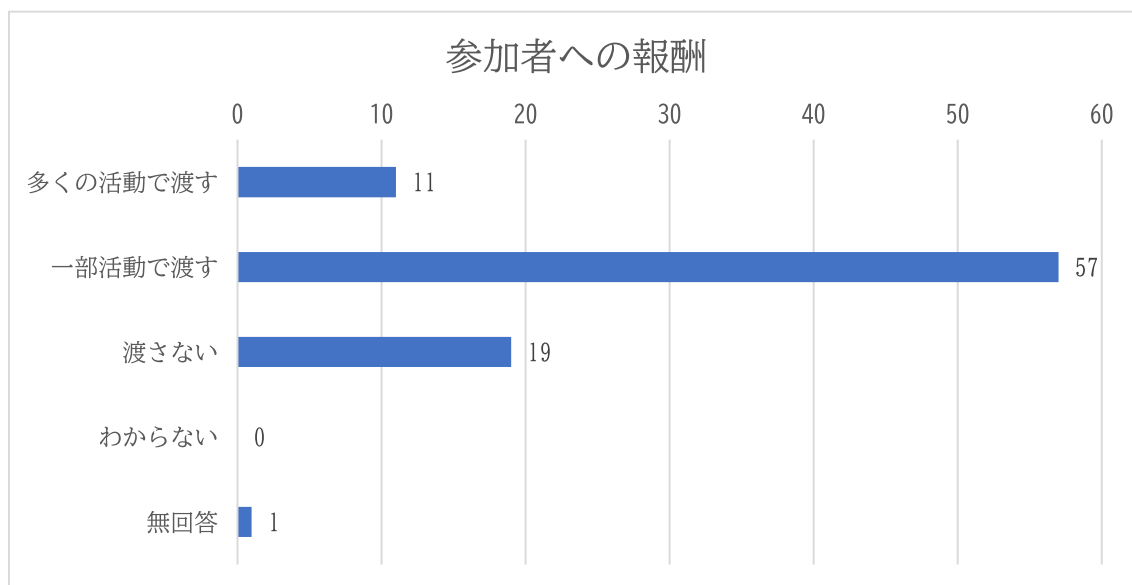
一般会員の活動参加状況について見ると、最も多い回答は「やや積極的」(43.2%)「あまり参加がない」がともに38団体(43.2%)で、同率で最も多い結果となっている。また、「とても積極的」は11団体(12.5%)であった。このことから、町会・自治会の活動への参加状況については、一定程度参加している団体がある一方、参加があまり多くない団体も同程度存在していることが分かった。

問8. 地域におけるあなたの団体の役割として、最も重要だと思うことは何ですか。（当てはまるものひとつだけ）



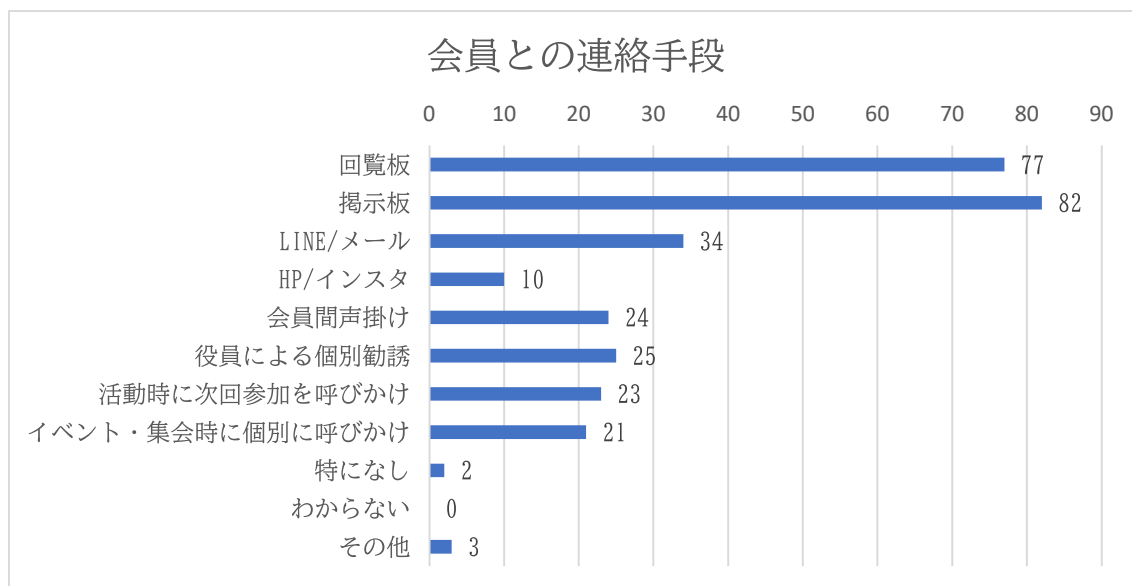
地域における団体の最も重要な役割について見ると、最も多い回答は「地域住民の親睦」で47団体（53.4%）であった。次いで、「生活環境の維持管理」が18団体（20.5%）、「行政への協力」が7団体（8.0%）、「地域課題への自主的取組」が5団体（5.7%）となっている。このことから、町会・自治会は、地域住民同士の交流やつながりを生み出す役割を最も重視していることが分かった。

問9. あなたの団体の活動の参加者に何らかの報酬（物品含む）を渡していますか。（当てはまるものひとつだけ）



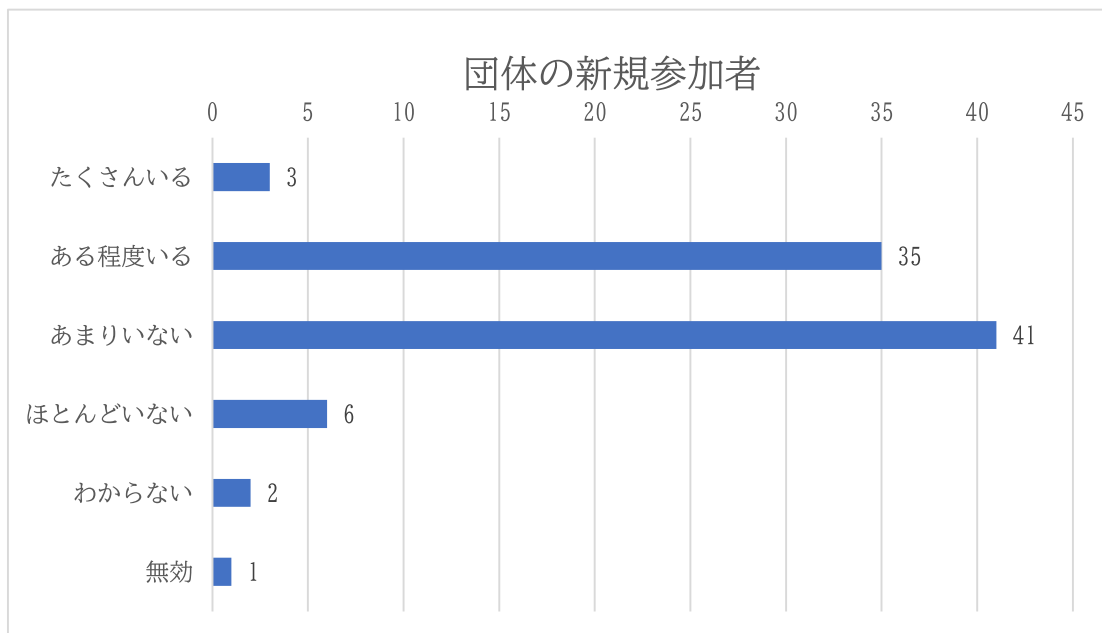
活動参加者への報酬（物品を含む）について見ると、最も多い回答は「一部の活動で渡している」で 57 団体（64.8%）であった。次いで、「渡していない」が 19 団体（21.6%）、「多くの活動で渡している」が 11 団体（12.5%）となっている。このことから、町会・自治会では、すべての活動ではないものの、活動内容に応じて報酬や物品を渡している団体が多いことが分かった。

問10. あなたの団体では、会員全体への連絡・通知をどのような手段で行っていますか。（当てはまるものいくつでも）



会員への連絡手段について見ると、最も多い回答は「掲示板」で 82 団体（93.2%）であった。次いで、「回覧板」が 77 団体（87.5%）、「LINE・メール」が 34 団体（38.6%）となっている。このことから、町会・自治会の連絡手段としては、掲示板や回覧板といった従来型の方法が中心となっている一方で、LINE やメールなどのデジタル手段も一定程度活用されていることが分かった。

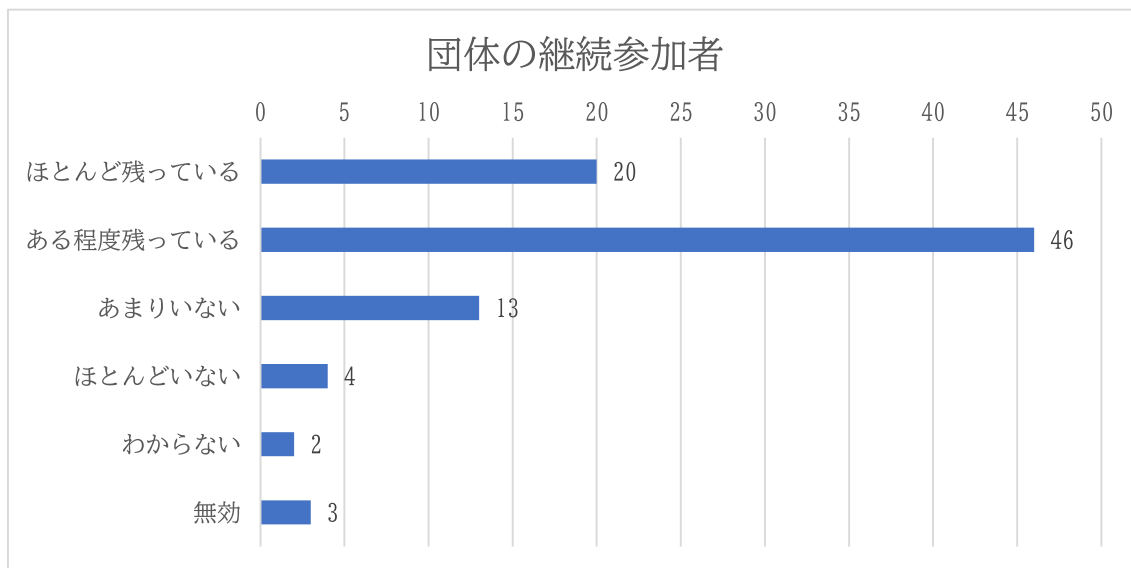
問11. あなたの団体では、10年前と比較して、団体の活動に新しい参加者はどの程度いますか。（当てはまるものひとつだけ）



過去10年での新規参加者の状況について見ると、最も多い回答は「あまりいない」で41団体（48.9%）であった。

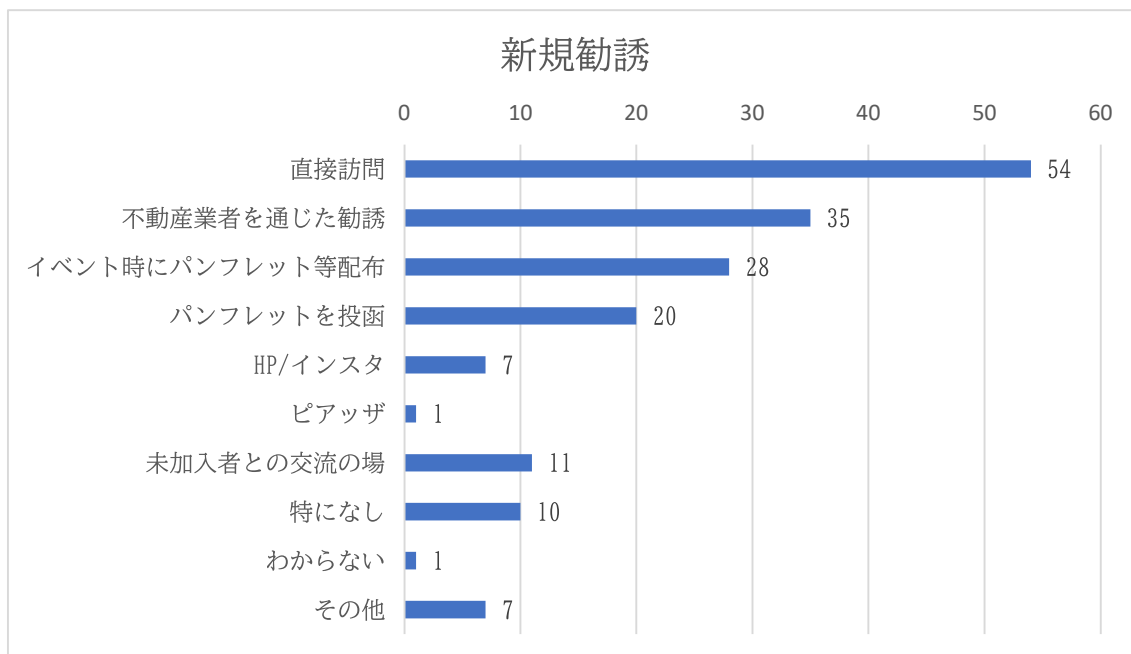
次いで、「ある程度いる」が35団体（39.8%）、「ほとんどいない」が8団体（9.1%）となっている。このことから、新規参加者が少ない団体が多いものの、一定数の新規参加者を確保している団体もみられることが分かった。

問11-1. あなたの団体では、10年前に団体の活動に参加していた方は、現在のどの程度残っていますか。（当てはまるものひとつだけ）



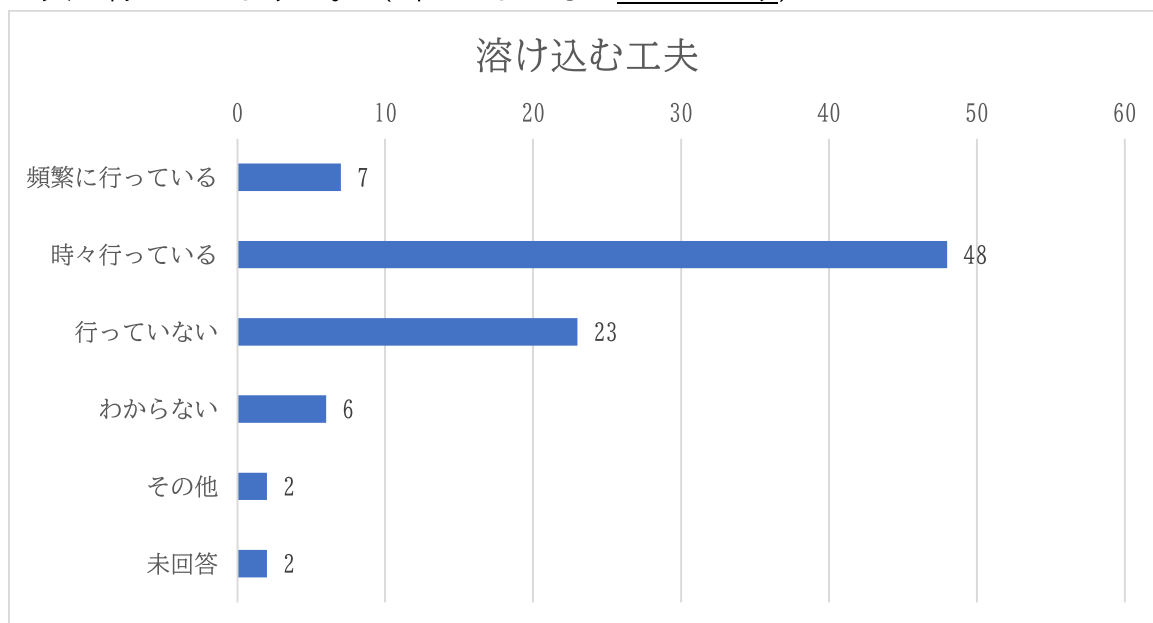
10年前に団体の活動に参加していた方が現在のどの程度残っているかについて見ると、最も多い回答は「ある程度残っている」で46団体（52.3%）であった。次いで、「ほとんど残っている」が20団体（22.7%）、「あまりいない」が13団体（14.8%）となっている。このことから、町会・自治会では、10年前からの参加者が現在も一定程度継続して活動している団体が多いことが分かった。

問12. あなたの団体では、新規加入者を増やすために、どのような取組を行っていますか。（当てはまるものいくつでも）



新規加入者を増やすための取組について見ると、最も多い回答は「直接訪問」で54団体（61.4%）であった。次いで、「不動産業者を通じた勧誘」が35団体（39.8%）、「イベント時にパンフレット等を配布」が28団体（31.8%）となっている。このことから、新規加入者の勧誘については、直接訪問など対面での働きかけを中心に行われていることが分かった。

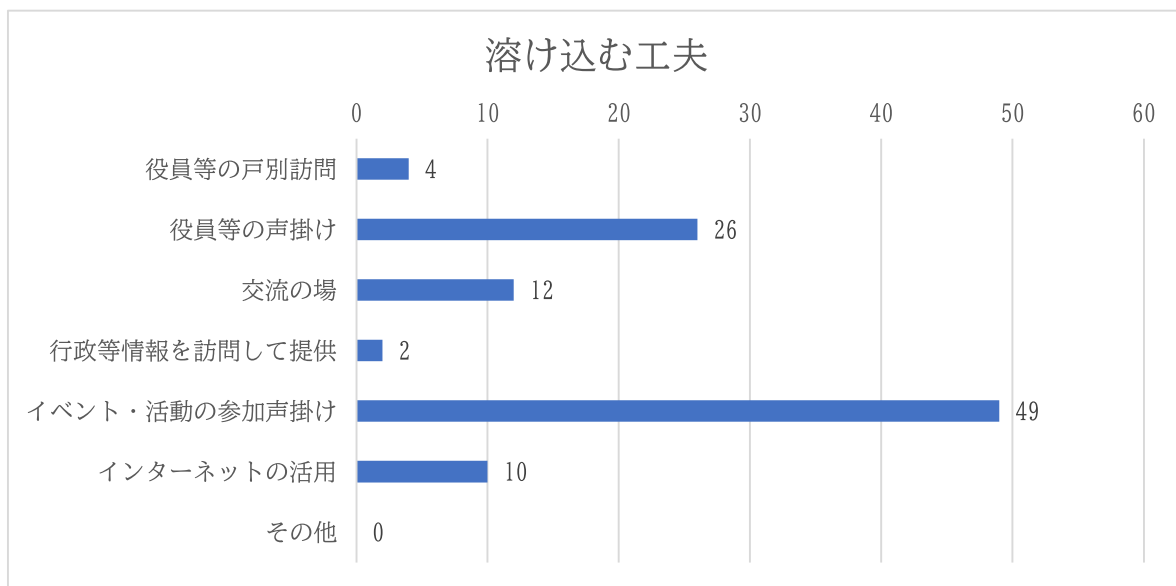
問13. あなたの団体に新たに参加した方々が、地域にうまく溶け込むための工夫は行っていますか。（当てはまるものひとつだけ）



新規加入者が地域に溶け込むための工夫について見ると、最も多い回答は「時々行っている」で48団体（54.5%）であった。次いで、「行っていない」が23団体（26.1%）、「頻繁に行っている」が7団体（8.0%）となっている。

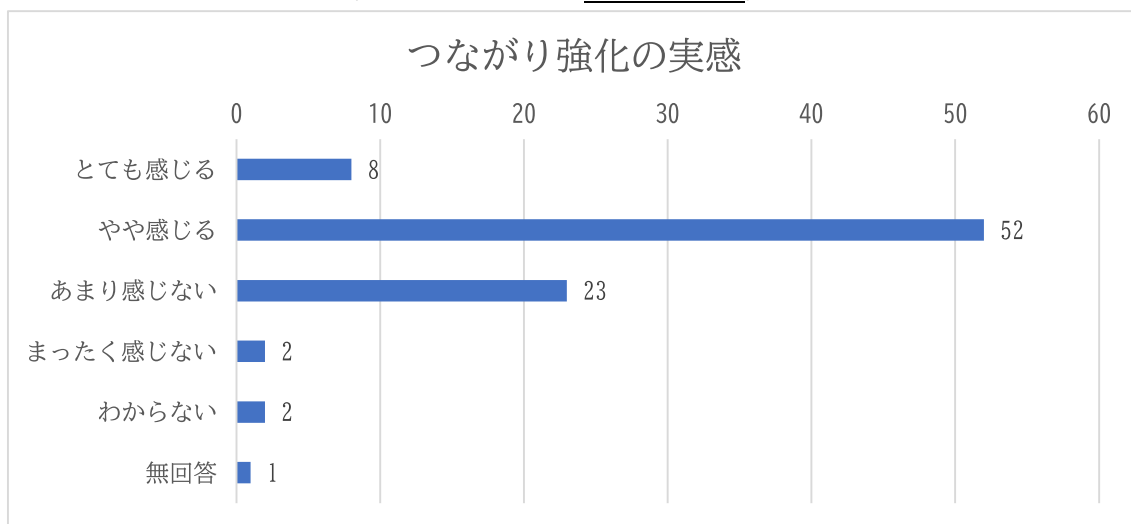
このことから、新規加入者が地域に溶け込むための取組は、6割（「頻繁に行っている」「時々行っている」）程度の団体が行っているものの、特に行っていない団体も一定数（3割弱程度）存在することが分かった。

問13-1. 問13で「①頻繁に行っている」または「②時々行っている」を選んだ方にお聞きします。新規会員に対し、具体的にはどのようなことを行っていますか。（当てはまるものいくつでも）



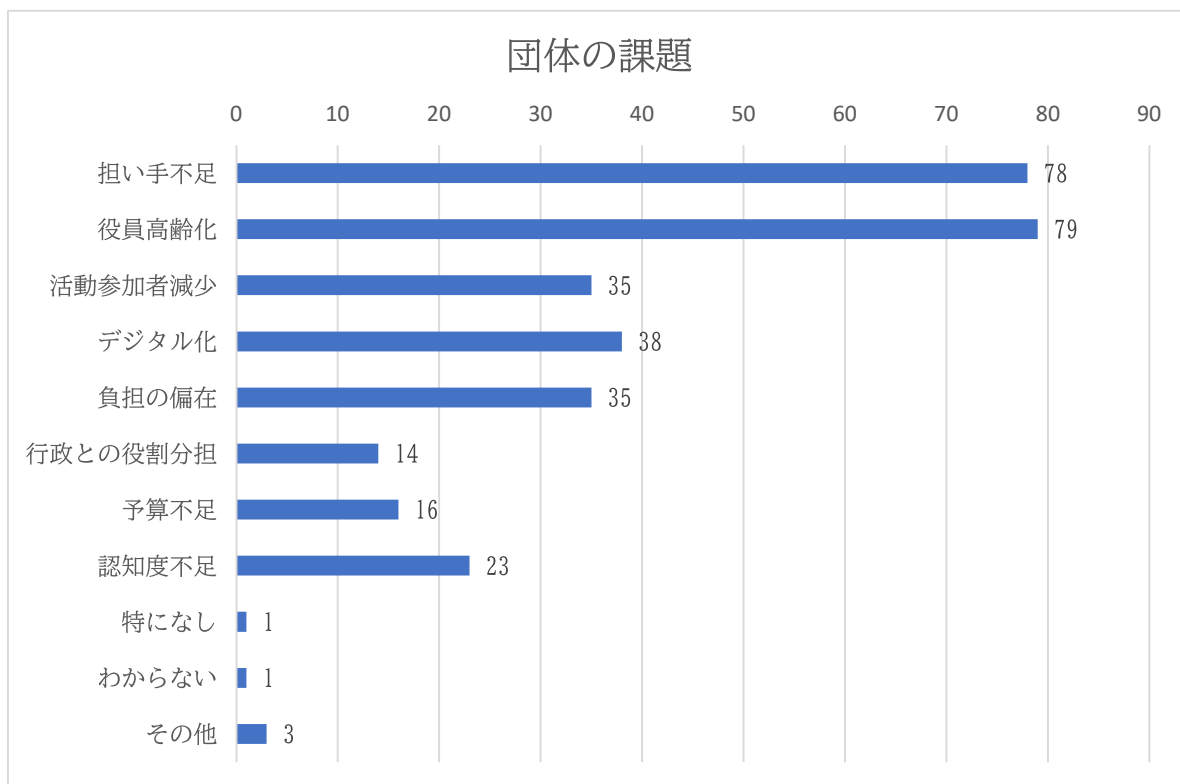
新規参加者に対する具体的な取組についてみると、最も多い回答は「イベント・活動への参加の呼びかけ」で49団体（55.7%）であった。次いで、「役員等による声掛け」が26団体（29.5%）、「交流の場の提供」が12団体（13.6%）、「インターネットの活用」が10団体（11.4%）となっている。このことから、新規参加者が地域に溶け込むための取組として、地域のイベントや活動への参加を促す働きかけが多く行われていることがうかがえる。

問14. あなたの団体の活動を通じて、地域の住民同士のつながりが強化されていると感じますか。（当てはまるものひとつだけ）



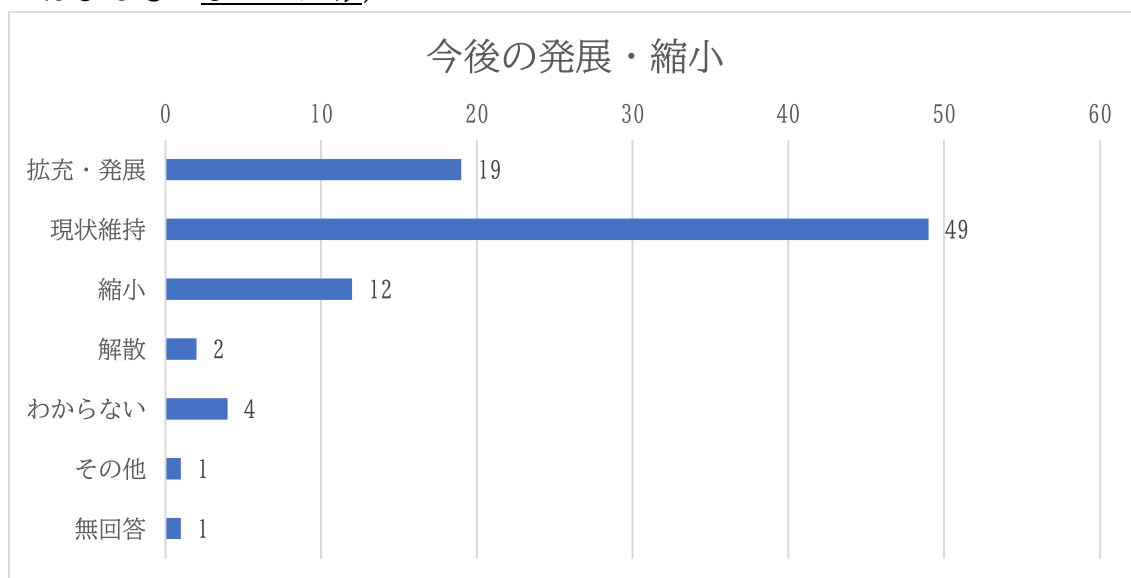
団体の活動を通じて地域の住民同士のつながりが強化されていると感じるかについて見ると、最も多い回答は「やや感じる」で52団体（59.1%）であった。次いで、「あまり感じない」が23団体（26.1%）、「とても感じる」が8団体（9.1%）となっている。このことから、団体の活動を通じて、地域の住民同士のつながりが一定程度強化されていると感じている団体が多いことが分かった。

問15. あなたの団体の課題は何だと思えますか。(当てはまるものいくつでも)



団体の課題について見ると、最も多い回答は「役員の高齢化」で79団体(89.8%)であった。次いで、「担い手不足」が78団体(88.6%)、「デジタル化」が38団体(43.2%)、「活動参加者の減少」が35団体(39.8%)、「負担の偏在」が35団体(39.8%)となっている。このことから、町会・自治会では、役員の高齢化や担い手不足といった人材面の課題が特に大きいことが分かった。

問16. あなたの団体の、今後の活動の見通しについて教えてください。(当てはまるものひとつだけ)



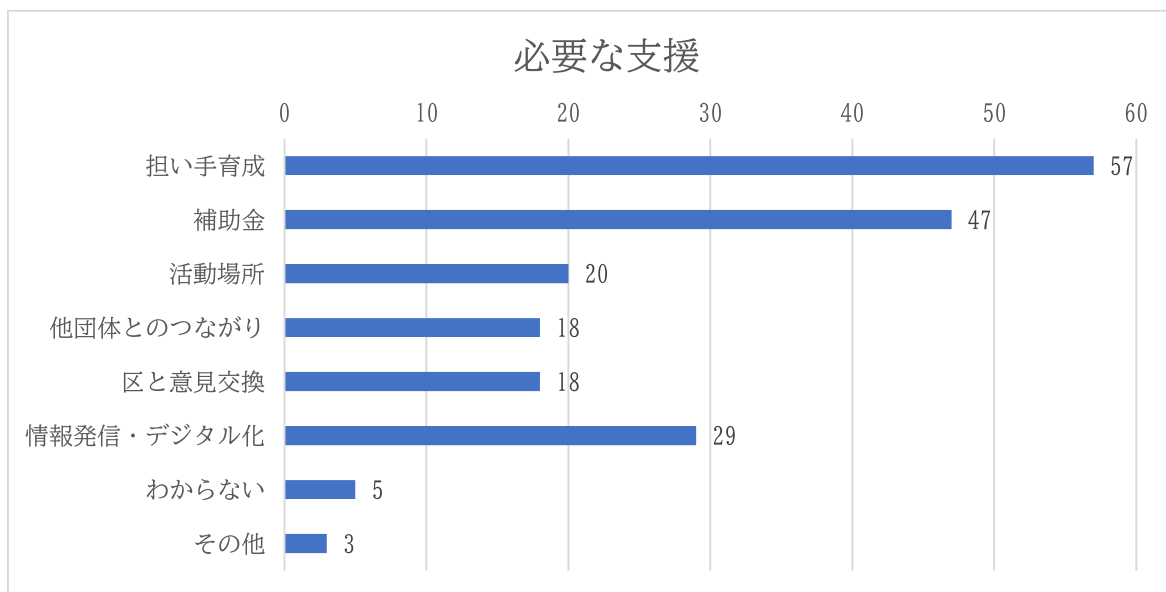
今後の活動の見通しについて見ると、最も多い回答は「現状維持」で49団体(55.7%)であった。次いで、「拡充・発展」が19団体(21.6%)、「縮小」が12団体(13.6%)となっている。このことから、今後も現在の活動を維持していくと考えている団体が多いことが分かった。

問16-1. 問16で、今後の活動の見通しについて「③縮小せざるを得ない」または「④解散を考えている」とお答えの方にお聞きします。差支えなければ、その理由をご記入ください。

※一部抜粋

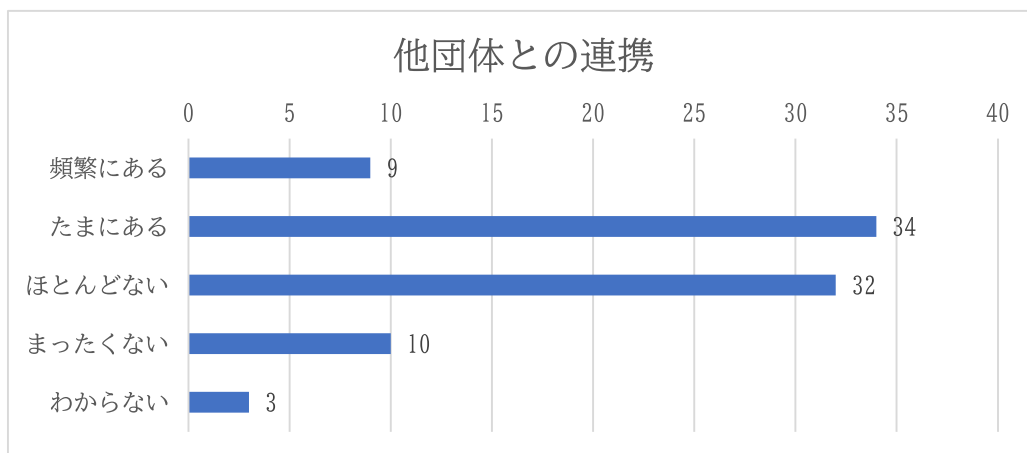
内容	回答
活動の担い手不足や高齢化	縮小
町会員が3割減少しているためです。	解散
役員のおよそ半数が80代であり現実に役員数が半減するのが時間の問題であるため。	縮小
役員や行事の担い手が不足して活動に支障をきたしている。	縮小
役員の高齢化、担い手不足	縮小
1. 高齢化による影響／①昼間に対応可能な役員が少ない為、行政側の要請にこたえられない／高齢化により、掲示板にポスター掲示する作業すら困難	縮小
現状は維持可能だが、10年後には役員の不足により縮小せざるを得ないと思う。	縮小
人口減少等・マンション等が参加しない	縮小
役員の高齢化が顕著で引き継ぐ人が不足している。また年々町会費減もあり運営が難しい状況になりつつある	縮小
役員の高齢化、体調不良等役員の減少、新規役員のなり手不足で活動を縮小せざるを得ない。	縮小

問17. あなたの団体が持続的に活動するために必要だと思う区の支援はありますか。（当てはまるものいくつかでも）



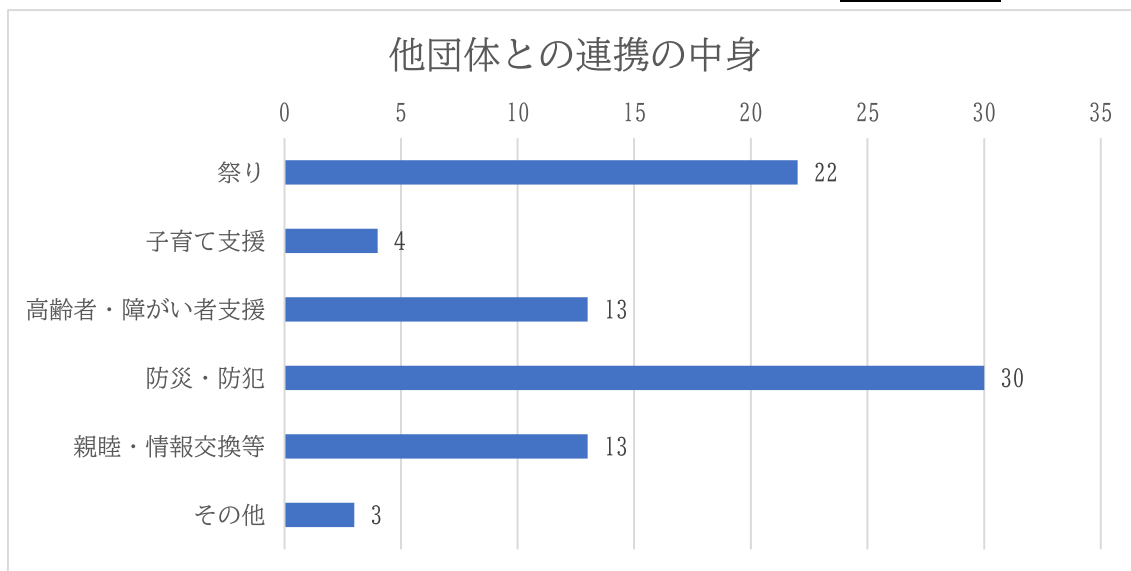
団体が持続的に活動するために必要な区の支援について見ると、最も多い回答は「担い手育成」で57団体（64.8%）であった。次いで、「補助金」が47団体（53.4%）、「情報発信・デジタル化支援」が29団体（33.0%）、「活動場所」が20団体（22.7%）となっている。このことから、必要な区の支援について担い手の確保や財政面での支援を始め多岐に渡ることが多いことが分かった。

問18. あなたの団体では、地域で活動する他の団体（社協・NPO等）と連携することはありますか。（当てはまるものひとつだけ）



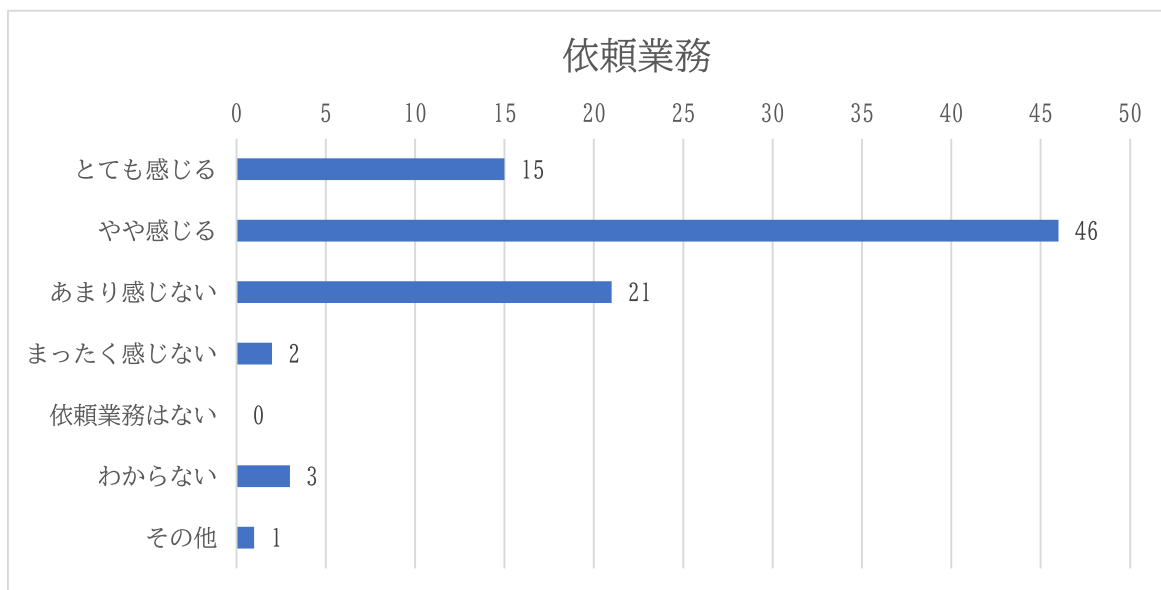
地域で活動する他の団体（社会福祉協議会、NPO等）との連携状況について見ると、最も多い回答は「たまにある」で34団体（38.6%）であった。次いで、「ほとんどない」が32団体（36.4%）、「まったくない」が10団体（11.3%）「頻繁にある」が9団体（10.2%）となっている。このことから、他団体との連携が一定程度行われている団体がある一方、連携があまり行われていない団体も同程度存在することがわかった

問18-1. 問18で、地域で活動する他の団体（社協・NPO等）との連携が「①頻繁にある」または「②たまにある」とお答えの方にお聞きします。具体的にどのような連携を行っていますか。（当てはまるものいくつでも）



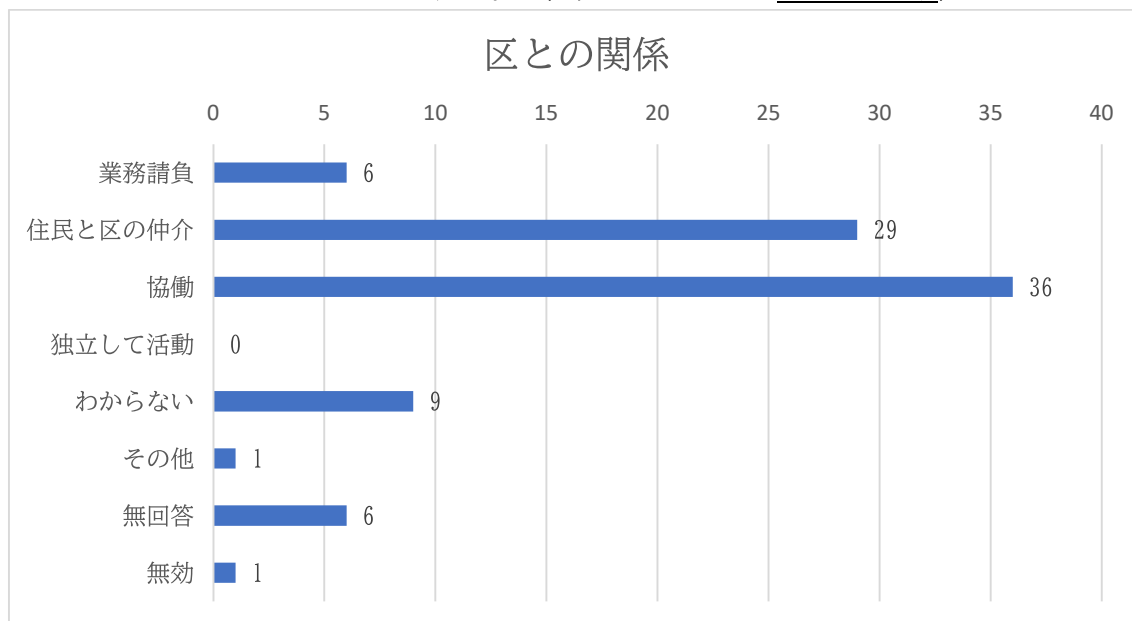
他団体との連携内容について見ると、最も多い回答は「防災・防犯」で30団体（34.1%）であった。次いで、「祭り」が22団体（25.0%）、「高齢者・障がい者支援」が13団体（14.8%）、「親睦・情報交換等」が13団体（14.8%）となっている。このことから、他団体の連携の中身については、防災・防犯活動や祭りなどの地域行事が多いことが分かった。

問19. あなたの団体へ区から依頼される業務（区のイベントや事業への協力や委員の就任依頼など）について、負担に感じることはありますか。（当てはまるものひとつだけ）



最も多い回答は「やや感じる」で46団体（52.3%）であった。次いで、「あまり感じない」が21団体（23.9%）、「とても感じる」が15団体（17.0%）となっている。このことから、区からの依頼業務について5割程度（「とても感じる」「やや感じる」）の団体が負担を感じていることが分かった。

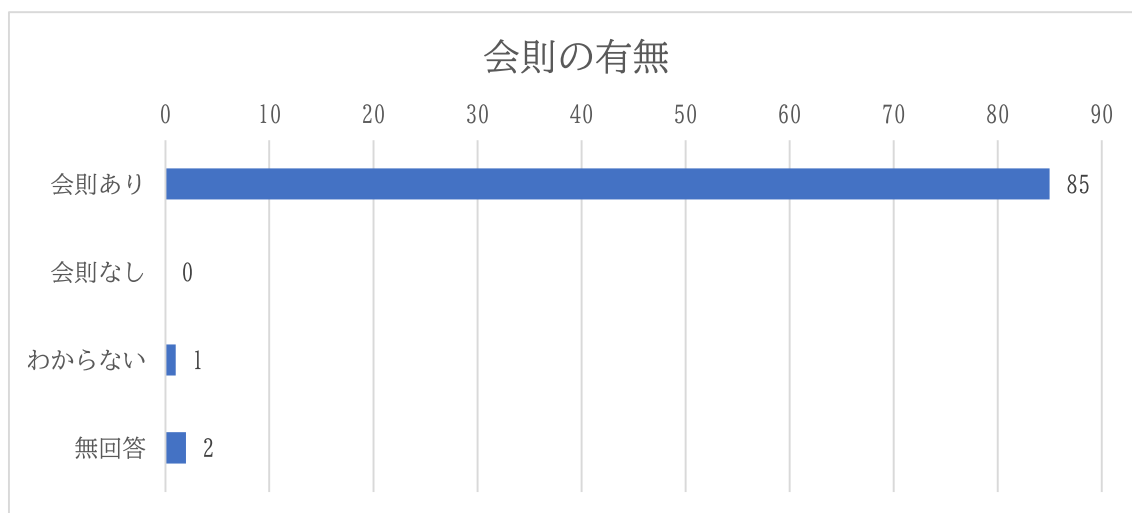
問20. あなたの団体は、地域の課題解決等に向けて、区とどのような関係であることが望ましいと思いますか。（当てはまるものひとつだけ）



最も多い回答は「協働」で36団体（40.9%）であった。次いで、「住民と区の仲介」が29団体（33.0%）となっている。

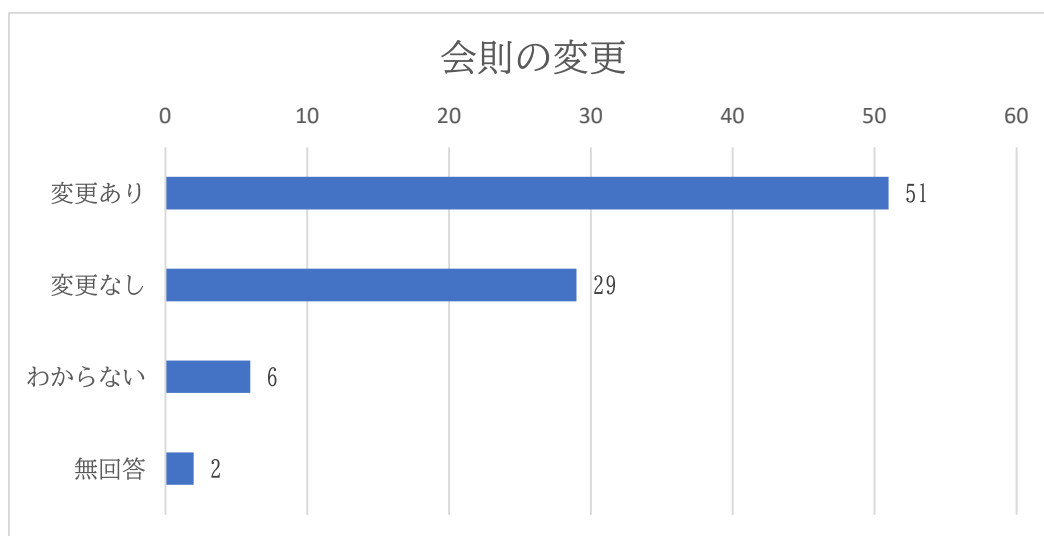
このことから、町会・自治会は、区と協力しながら地域課題の解決に取り組む関係を望む団体が多いことが分かった。

問21. あなたの団体には、会則や規約等がありますか。（当てはまるものひとつだけ）



最も多い回答は「会則あり」で85団体（96.6%）であった。次いで、「わからない」が1団体（1.1%）となっている。このことから、ほとんどの町会・自治会において会則や規約が整備されていることが分かった。

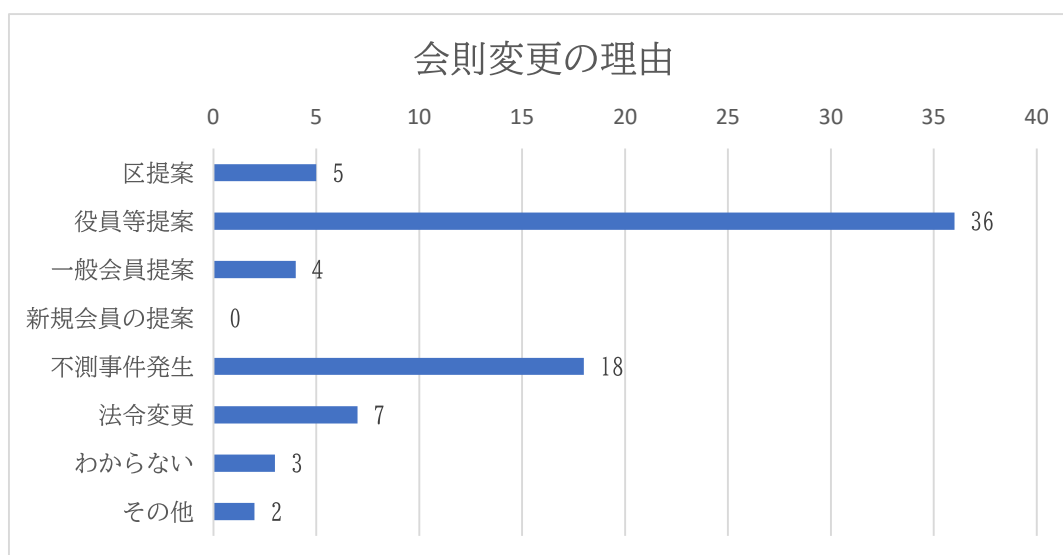
問2 1-1. 問2 1で会則や規約等が「①ある」と回答された方にお聞きします。今まで団体の規約・会則等が変更されたことはありますか。(当てはまるものひとつだけ)



会則・規約の変更の有無について、最も多い回答は「変更したことがある」で51団体（57.9%）であった。次いで、「変更したことがない」が29団体（33.0%）となっている。

このことから、町会・自治会では、運営状況や社会状況の変化などに応じて、会則・規約の見直しが行われている一方で、今まで会則等の変更を行っていない団体が3割程度存在することが分かった。

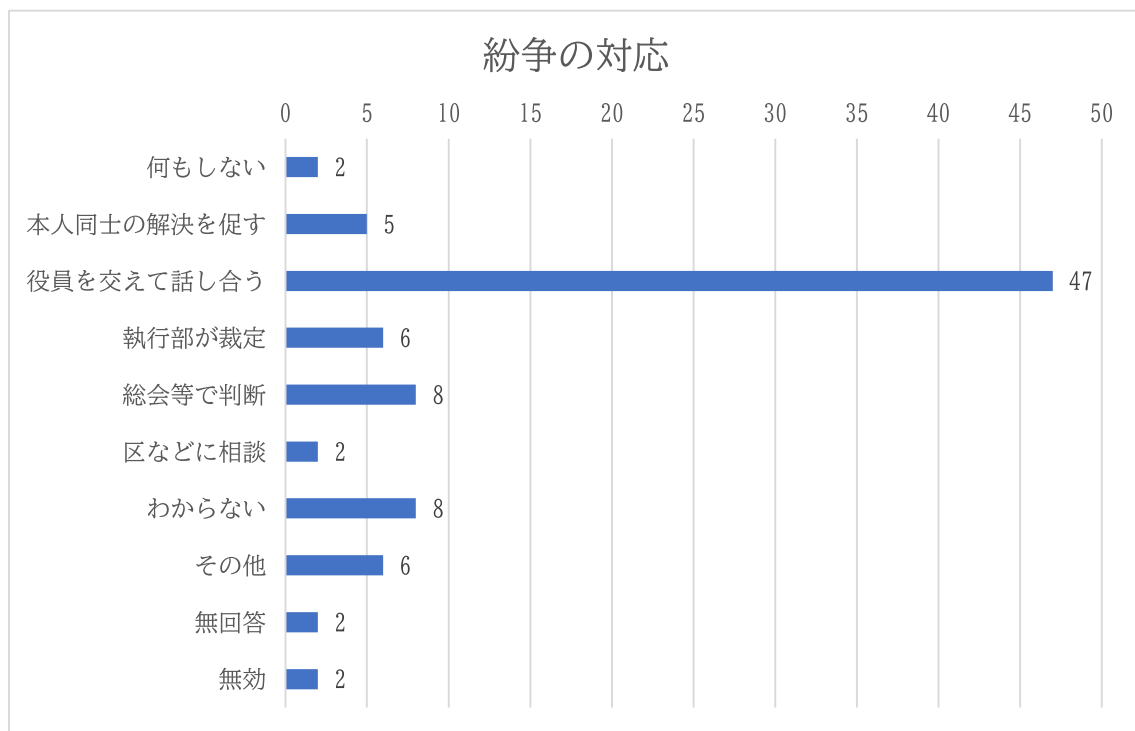
問2 1-2. 問2 1-1で団体の会則や規約等が変更されたことが「①ある」と回答された方にお聞きします。あなたの団体で会則や規約等を変更した経緯は何ですか、またそれはいつ頃ですか。(当てはまるものいくつでも)



最も多い回答は「役員等からの提案」で36団体であった。

次いで、「不測の事案の発生」が18団体、「法令の変更」が7団体、「区からの提案」が5団体となっている。このことから、会則・規約の変更は、役員等の提案を契機として行われることが多いことが分かった。

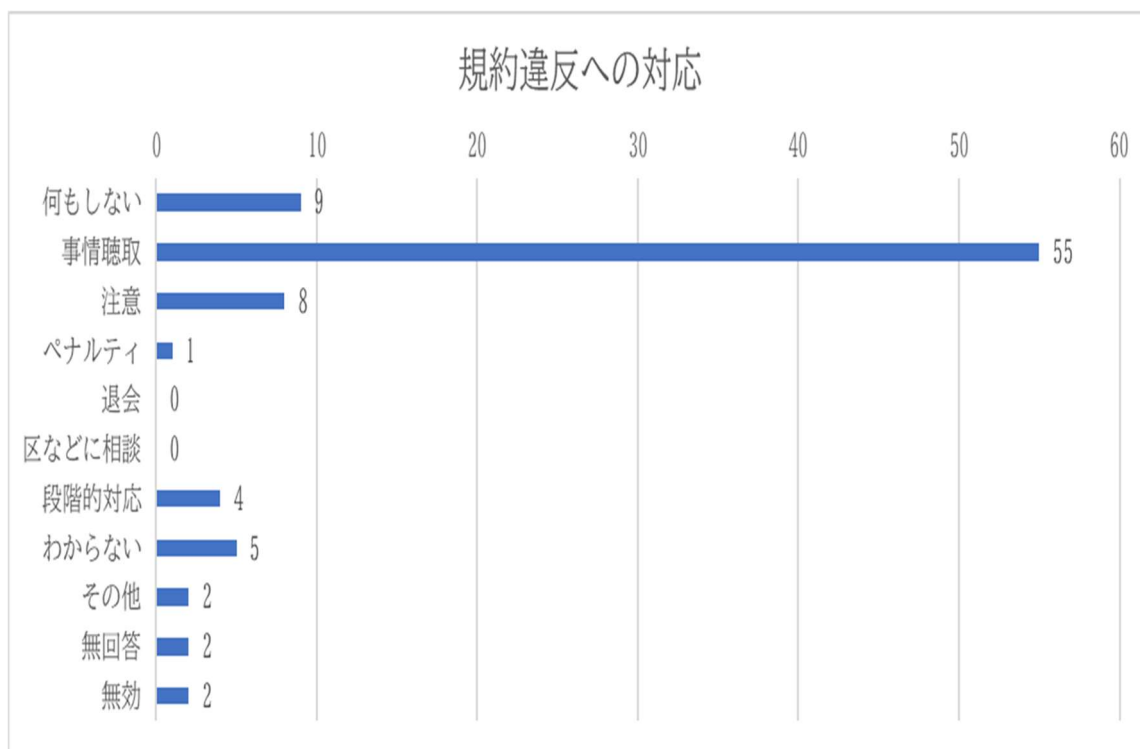
問22. あなたの団体の活動に関して、会員同士で、ある程度大きな対立や意見の衝突などがあつたら、どのように対応しますか。(当てはまるものひとつだけ)



最も多い回答は「役員を交えて話し合う」で47団体（53.4%）であった。次いで、「総会等で判断」が8団体（9.1%）、「執行部が裁定」が6団体（6.8%）、「本人同士の解決を促す」が5団体（5.7%）となっている。

このことから、会員間の対立が生じた場合、役員が関与して話し合いにより解決を図る団体が多いことが分かった。

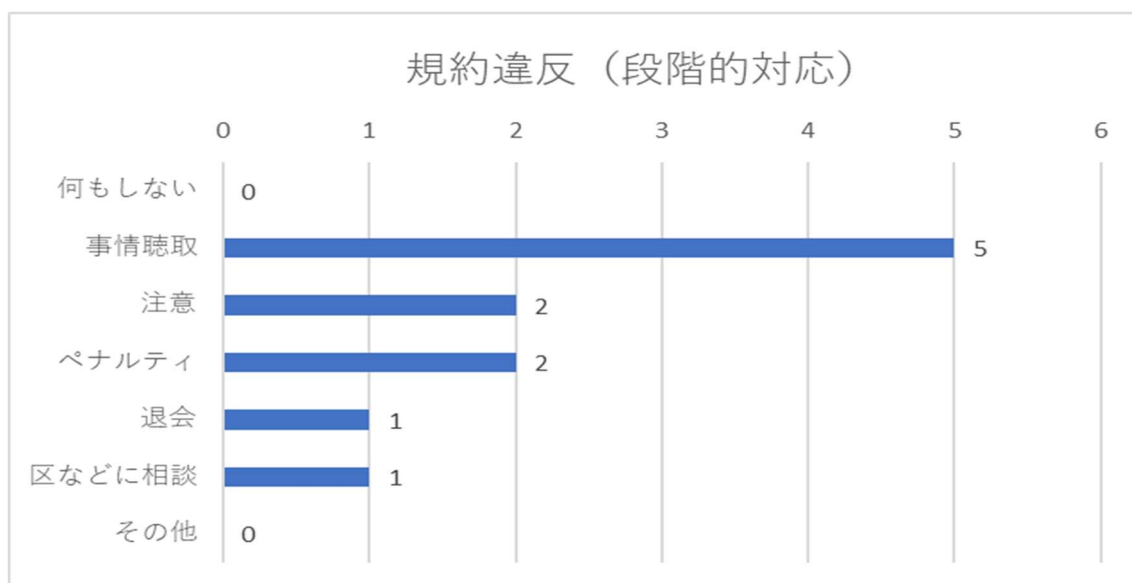
問23. あなたの団体の活動で、会員が会則や決まり事を守らなかった（活動の当番への不参加など）場合、どのように対応しますか。（当てはまるものをひとつだけ）



会員が会則や決まり事を守らなかった場合の対応について見ると、最も多い回答は「事情聴取」で55団体（62.5%）であった。

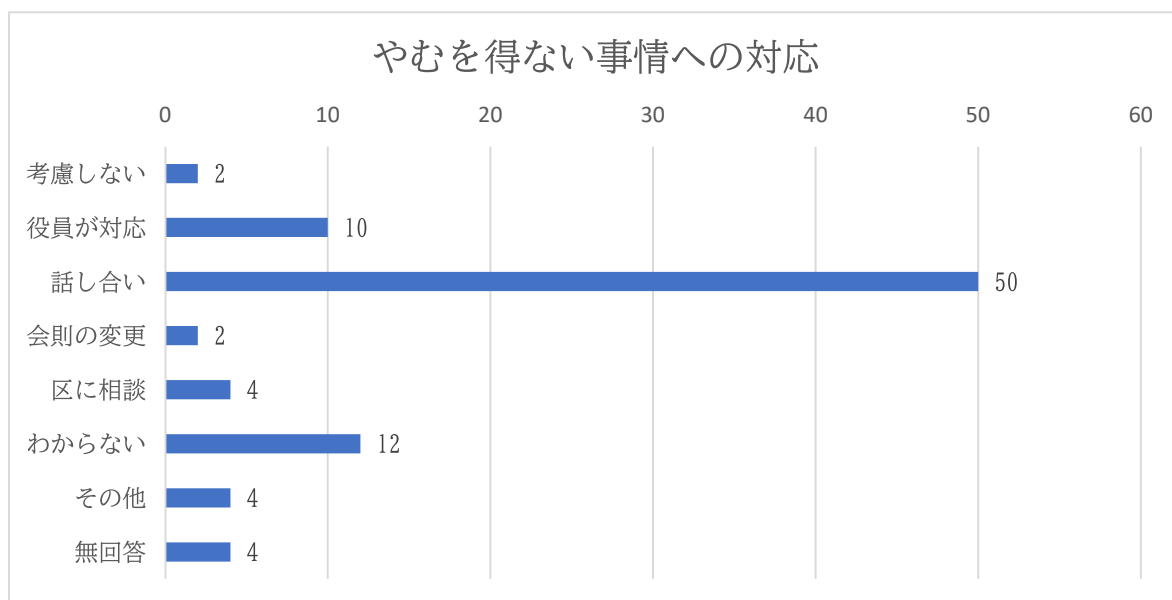
次いで、「何もしない」が9団体（10.2%）、「注意」が8団体（9.1%）となっている。このことから、町会・自治会では、会則違反があった場合、まず事情を確認したうえで対応する団体が多いことが分かった。

問23-1. 問23で「⑦違反の回数などにより、段階的に対応する」と回答された方にお聞きします。その場合は実際どのように対応しますか。(当てはまるものいくつかでも)



会則や決まり事を守らなかった場合に段階的に対応すると回答した団体に、その具体的内容を尋ねたところ、最も多い回答は「事情聴取」で5団体(45.5%)であった。次いで、「注意」が2団体(18.2%)、「ペナルティ」が2団体(18.2%)、「退会」が1団体(9.1%)、「区に相談」が1団体(9.1%)となった。

問24. あなたの団体の会員が、会則や決まり事を守れない、やむを得ない事情を述べてきた場合、どのように対応しますか。(当てはまるものをひとつだけ)



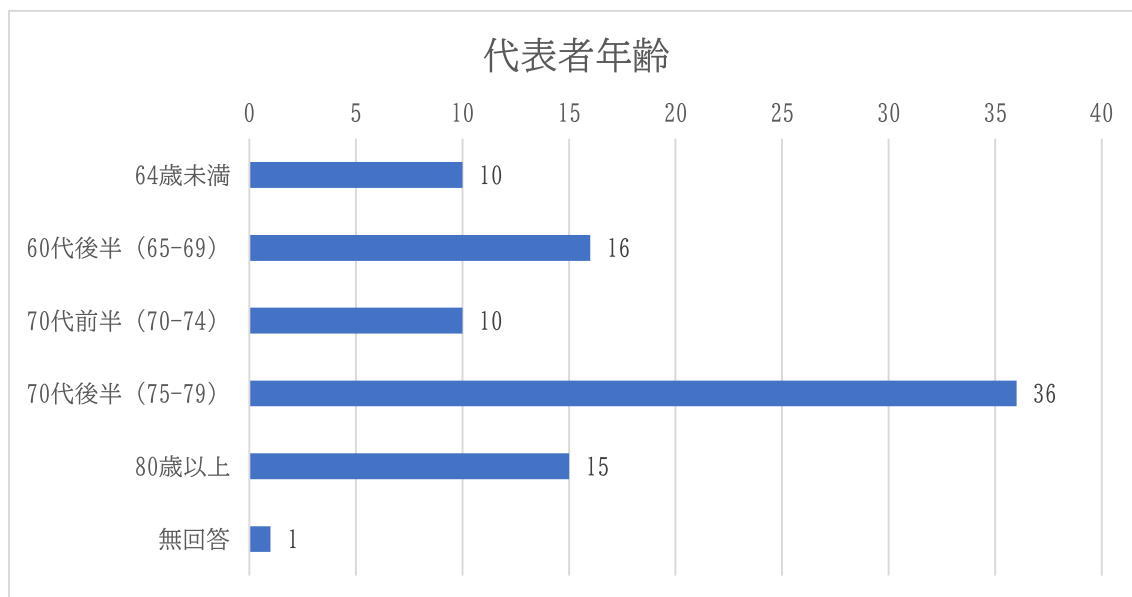
会員が会則や決まり事を守れないやむを得ない事情を述べてきた場合の対応について見ると、最も多い回答は「話し合い」で50団体(56.8%)であった。次いで、「役員が対応」が10団体(11.4%)、「わからない」が12団体(13.6%)となっている。このことから、町会・自治会では、やむを得ない事情がある場合には、話し合いにより柔軟に対応する団体が多いことが分かった。

問25. あなたの団体について、他の同種の団体とは異なる独自性や長所、または特筆すべき事業や取組はありますか。もしありましたら、下記にご記入ください。 ※一部抜粋

他の同種の団体とは異なる独自性や長所、または特筆すべき事業や取組
町会活動を「楽しい」と感じる方法をよく話し合っ、活動やイベントに取り組む姿勢を大事にしている。
回覧をLINE公式で受け取る&町会事務所に町会費を持参する会員には、10軒程度の家 の町会費を集め回る班長の制度を免除
役員の交流の場を積極的に設けている。／月1回の町内イベントを目標にしている。
エクセルを用いた自作の複式簿記会計システムを使用して、町会内で全て公開している。
イベント、祭りなど地域の行事に多数の役員が参加して頂けます。
小学校の夏休み期間の7月の10日間、学校の校庭を利用して、芝生の上でラジオ体操を10年間継続している。毎回参加賞を出し、毎年1,000名前後の参加者が集まる。
総会や役員会時の議題や検討内容については、ペーパーレス化を実施。大型ディスプレイで内容を表示している。
イベントを増やすことにより、会員総互の親睦を図る機会を増やす。
町会には、14の部があり、（防火・防災・交通・文化・衛生・防災・広報・民生・青年・夫人・会計・宮総代・総務・地区委員）月に1度定例会を開催し問題点の有無を確認し各部で行動してます。
当町会は古くからの住民が多く、問題を解決するにも大きな反対もなく、意思疎通しやすい町会です。
少ない人数で運営するために、役員の役職を活動ごとの部長ではなく、担当長として担当カテゴリーで割り振りしている。／運営事務担当；総務、会計／生活安全担当；防火防災活動、防犯活動、交通安全活動／生活環境担当；リサイクル活動、保健衛生活動、文化社会活動

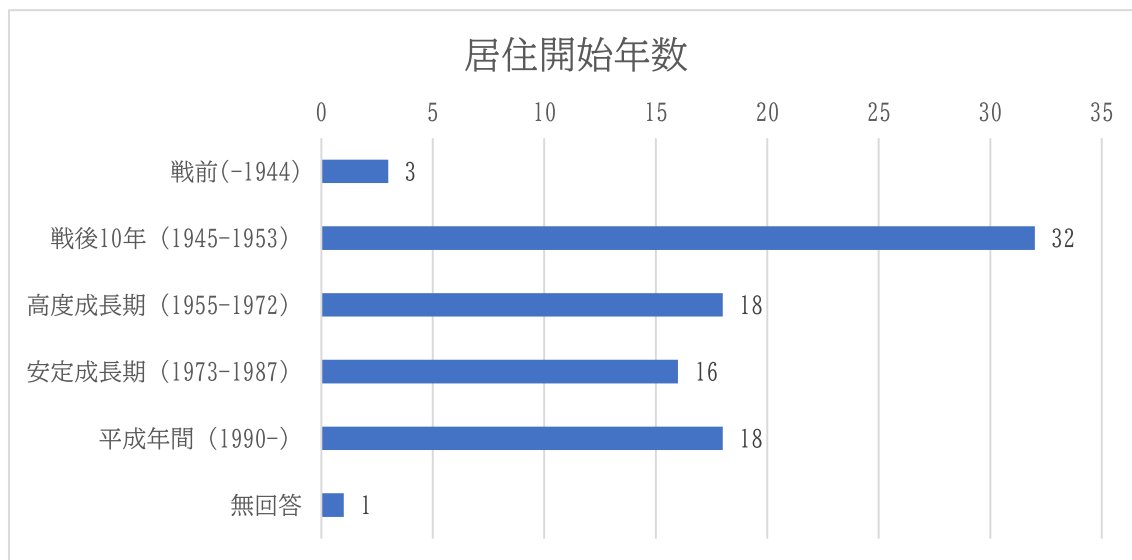
★代表者の方についてお聞きします。

問 2 6 . 年齢はおいくつですか。(令和 6 年 1 2 月 3 1 日時点)



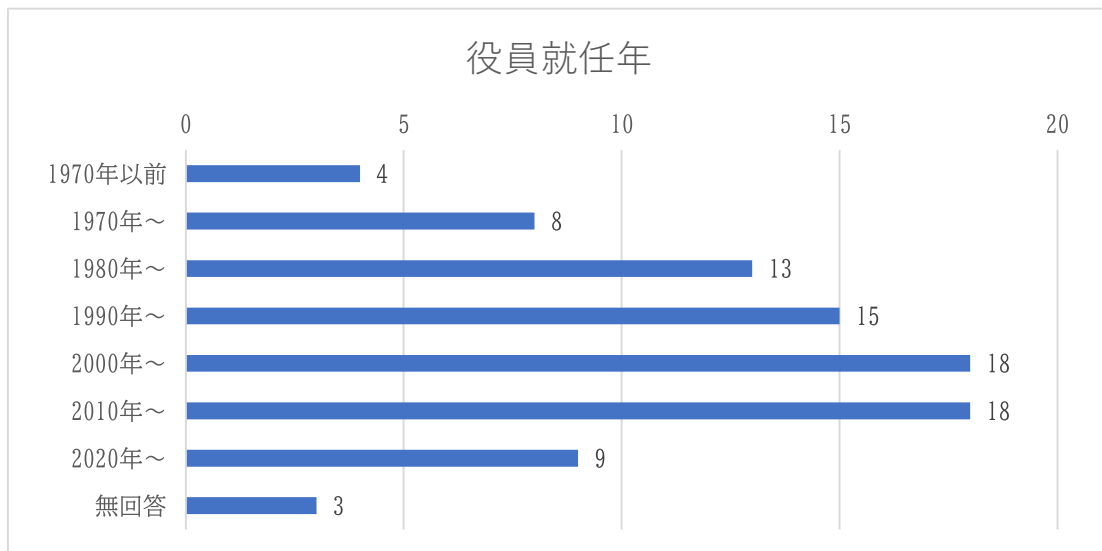
代表者の年齢についてみると、最も多い回答は「75～79歳」で36人(40.9%)であった。次いで、「65～69歳」が16人(18.2%)、「80歳以上」が15人(17.0%)、「70～74歳」が10人(11.4%)となっている。このことから、町会・自治会の代表者は70歳以上が中心となっていることが分かった。

問 2 7 . 今の団体のある地域に住み始めたのはいつ頃ですか。



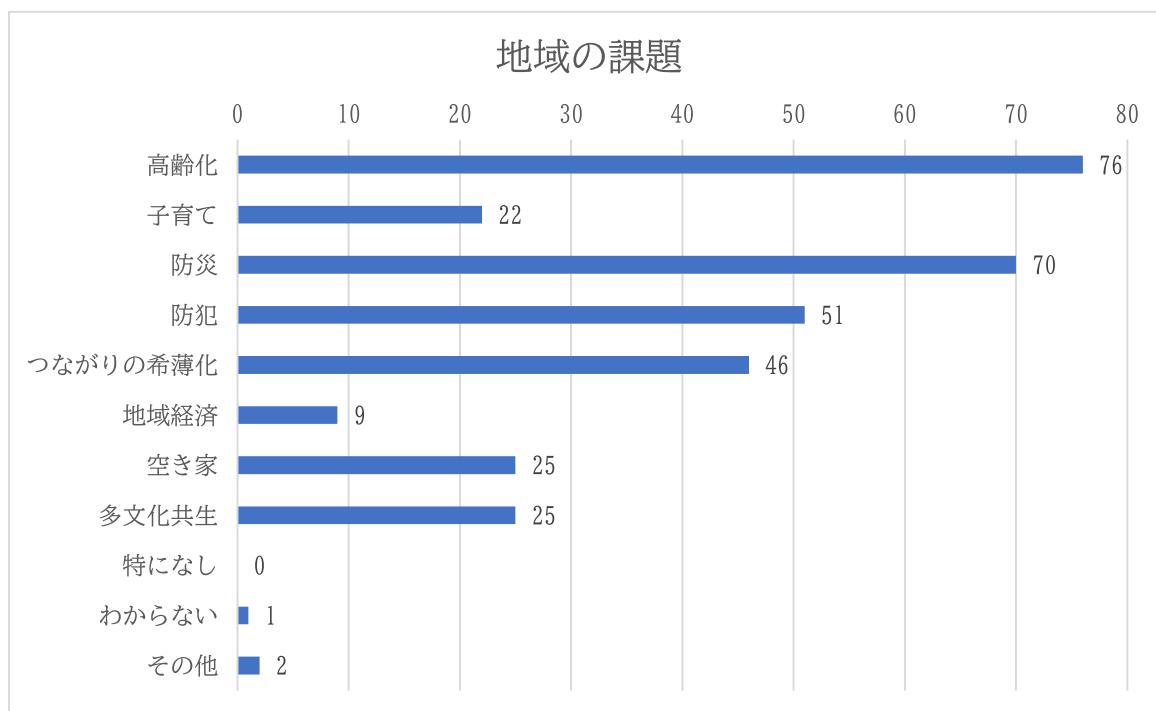
最も多い回答は「戦後10年(1945～1953年)」で32人(36.4%)であった。次いで、「高度成長期(1955～1972年)」が18人(20.5%)と「平成年間(1990年以降)」が18人(20.5%)、「安定成長期(1973～1987年)」が16人(18.2%)となっている。このことから、町会・自治会の代表者は、長期間地域に居住している人が多いことが分かった。

問28. 今の団体で役員になった（運営に携わるようになった）のはいつ頃ですか。



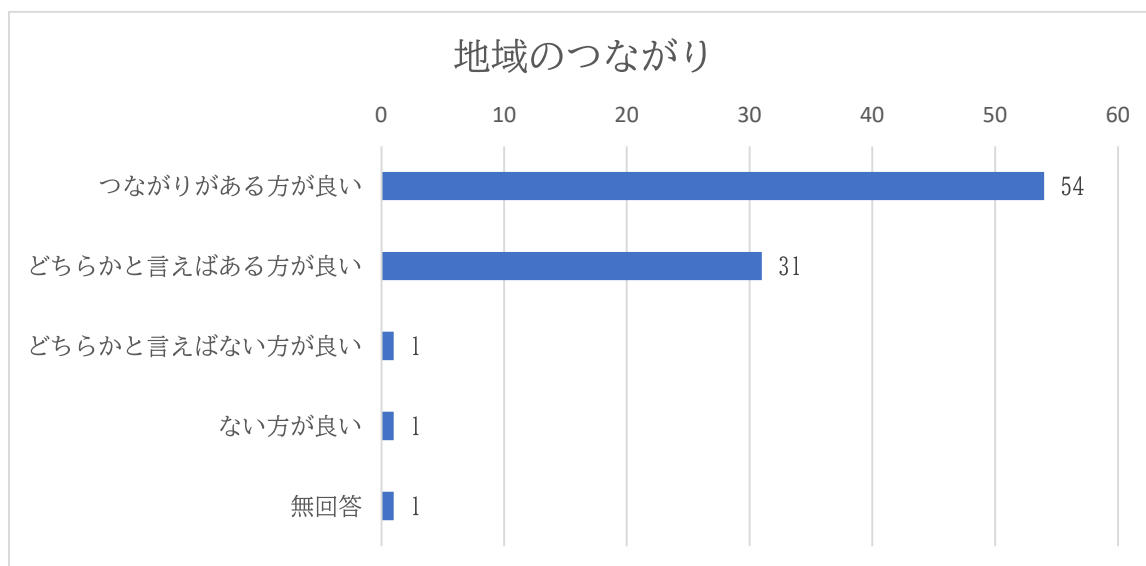
最も多い回答は「2000年代」と「2010年代」で18人（20.5%）だった。次いで「1990年代」が15人（17.0%）「1980年代」が13人（14.8%）となっている。このことから、町会・自治会の代表者は、比較的長い期間にわたり団体の運営に携わっている人が多いことが分かった。

問29. あなたが地域における課題で重要だと思うことは何ですか。(当てはまるものをいくつかでも)



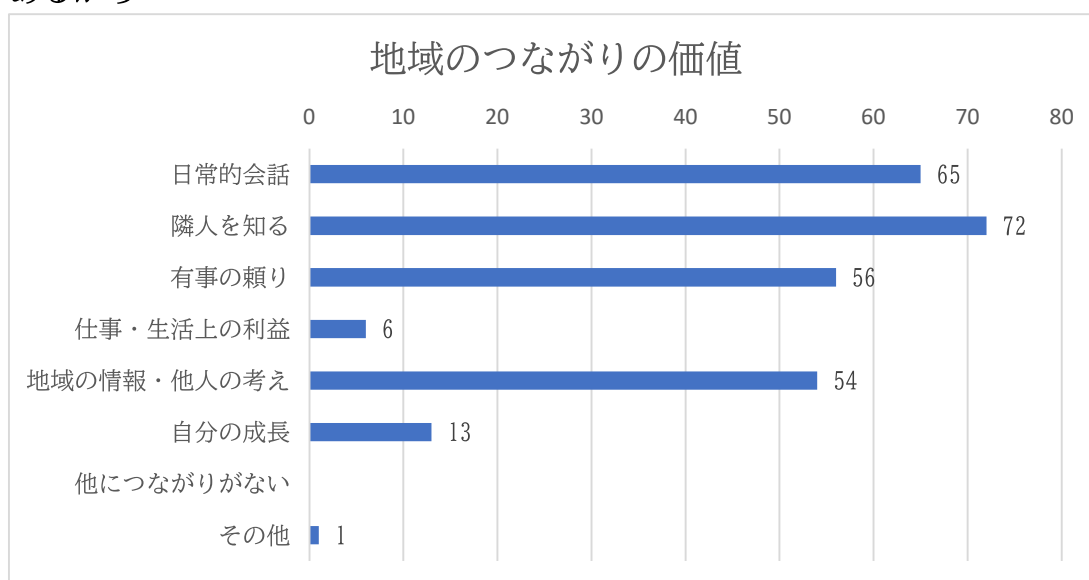
地域における課題について見ると、最も多い回答は「高齢化」で76人(86.4%)であった。次いで、「防災」が70人(79.5%)、「防犯」が51人(58.0%)、「つながりの希薄化」が46人(52.3%)となっている。このことから、町会・自治会の代表者は、地域の高齢化や防災・防犯といった地域の安全・生活に関わる課題を特に重要と認識していることが分かった

問30. あなたは地域の人々とのつながりは、ある方が良いと思いますか。(当てはまるものひとつだけ)



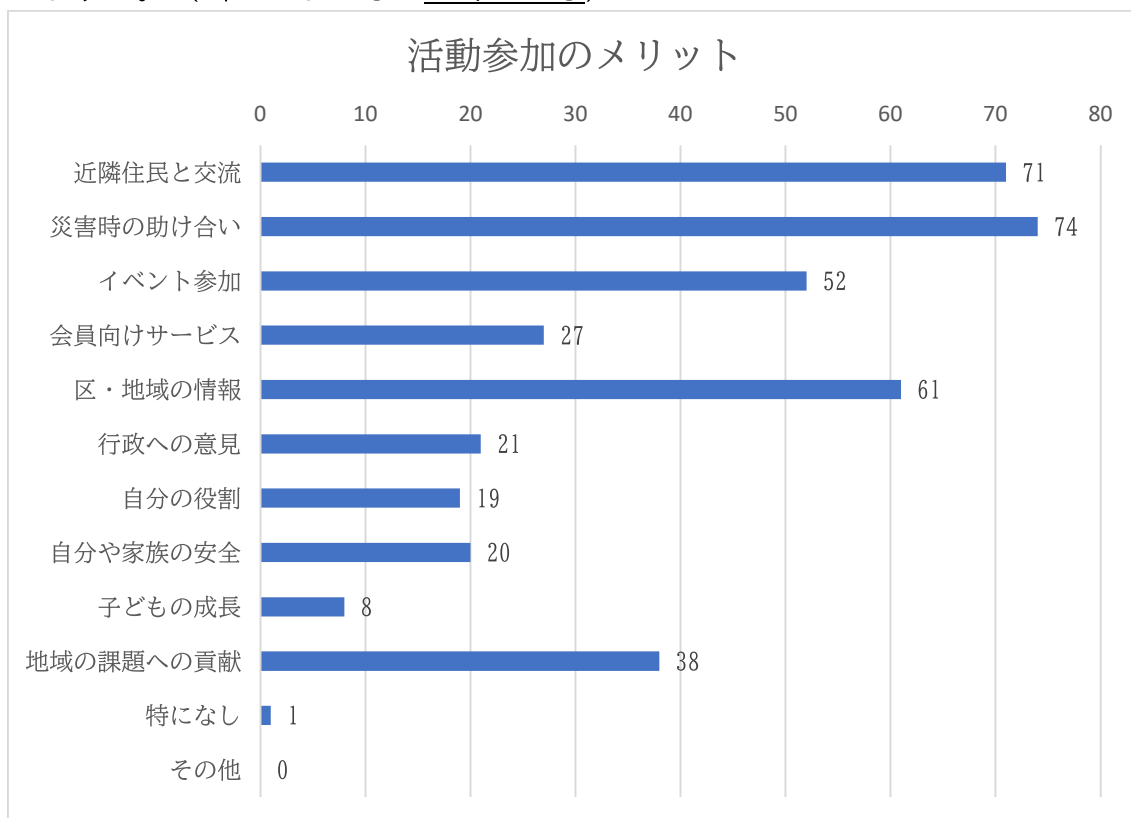
最も多い回答は「つながりがある方が良い」で54人(61.4%)であった。次いで、「どちらかと言えばある方が良い」が31人(35.2%)となっている。このことから、代表者の多くは、地域の人々とのつながりはある方が良いと考えていることが分かった。

問30-1. 問30で「①ある方が良い」もしくは「②どちらかと言えばある方が良い」とお答えの方にお聞きします。地域の人々とのつながりがある方が良いと思う理由はどのようなものですか。(当てはまるものいくつでも)  
あるから



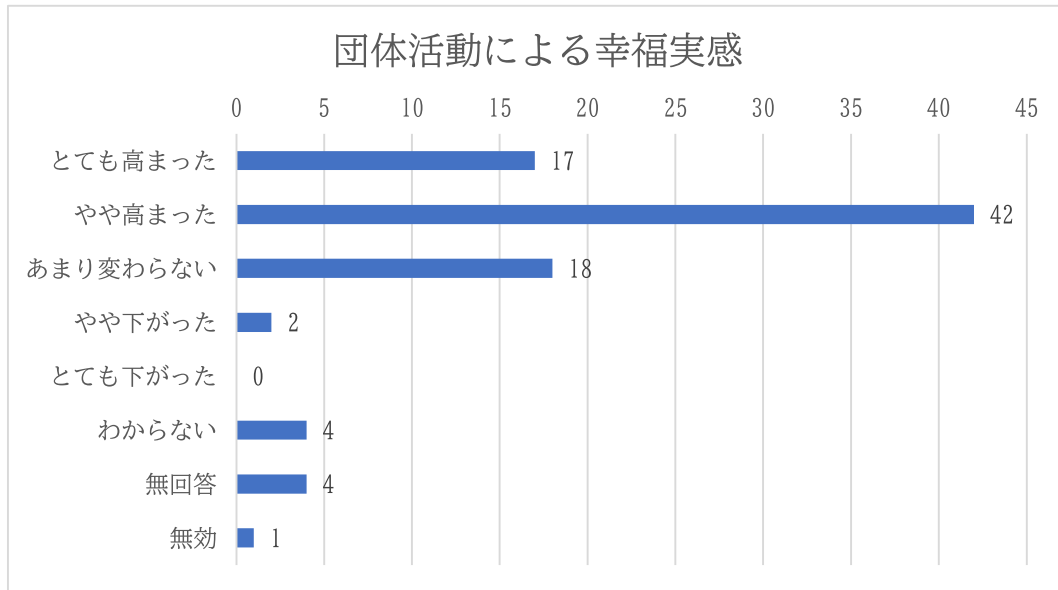
地域の人々とのつながりがある方が良い理由についてみると、最も多い回答は「隣人を知ることができる」で72人(81.8%)であった。次いで、「日常的な会話」が65人(73.9%)「有事の際に頼りになる」が56人(63.6%)、「地域の情報や他人の考え方がわかる」が54人(61.3%)となっている。このことから、地域の人々とのつながりについては、日常的な交流や有事の際の助け合い、地域情報の共有などの面で重要と考えられていることが分かった。

問3 1. あなたの団体の活動に参加することで得られるメリットは何だと思いますか。（当てはまるものいくつかでも）



町会活動に参加するメリットについてみると、最も多い回答は「災害時の助け合い」で74人(84.1%)であった。次いで、「近隣住民と交流」が71人(80.7%)、「区・地域の情報」が61人(69.3%)、「イベント参加」が52人(59.1%)となっている。このことから、町会活動は、災害時の助け合いや近隣住民との交流など、地域のつながりや相互扶助の面でメリットがあると認識されていることが分かった。

問3 2. あなたの団体の活動への参加を通じて、あなた自身の幸福感(満足感・安心感・生きがいなど)は高まったと感じますか。(当てはまるものひとつだけ)



町会活動によって幸福感がどのように変化したかについてみると、最も多い回答は「やや高まった」で42人(47.7%)であった。次いで、「あまり変わらない」が18人(20.5%)、「とても高まった」が17人(19.3%)となっている。このことから、約7割弱の方が町会・自治会の活動を通じて幸福感が高まった(「とても高まった」「やや高まった」と感じている人が多いことが分かった。